

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.82, June 2013

ARSC 事務局：〒164-0003 東京都新宿区矢来町 126

NITTO ビル (株)メッツ研究所内

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023

会長： 中村良平 担当：宮本成雄

TEL: (03)5227-7804

FAX: (03)5227-7807

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 新会長就任あいさつ
副会長選挙の結果
運営幹事等役員の選任
第 27 回研究発表大会のご案内
2013 年度坂下賞候補者の推薦
2012 年度学会決算概要
2013 年度第 1 回運営委員会の概要
事務局だより

1. 新会長就任あいさつ

ARSC 第 14 代会長 中村良平(岡山大学)

2013 年度と 2014 年度の 2 年間、応用地域学会の会長を務めさせていただく事になりました。顧みれば 1987 年（昭和 62 年）に応用地域科学研究会として発足した ARSC も、早いもので四半世紀を越えました。学士会館で開催された当時の応用地域科学研究会から学会への設立総会だったと思いますが、会場は人が立錫の余地もないほど一杯で、大変な熱気があったと記憶しています。当時はバブル経済がピークに近づく時期で、そこでは土地問題について熱い議論が交わされたことを覚えています。それから 25 年余り。世の中の人口の高齢化につれて、学会メンバーの高齢化も進んできているようです。そういったこともあってか、かつてのような熱い議論が

減ってきた気もします。

持続可能な学会としていくには、研究大会の充実とともに学会誌である応用地域学研究と国際雑誌である RURDS の発展が不可欠です。特に和文の応用地域学研究は、高い水準であることが同時に投稿者を躊躇させているようにも感じます。そこで、研究大会では、地域事情に詳しいシンクタンクやコンサルタントの実務家の方々のセッションをもち、報告内容をベースとした事例研究的素材の論文を従来の研究論文とは違う位置づけで応用地域学研究に積極的に掲載していきたいと考えています。今年の大会では、皆さんのお知り合いのシンクタンクの方に是非報告をお願いしてみして下さい。また、学会の論文賞も新設しましたので、大学院生を中心とした若い世代の方々にも積極的に投稿して戴き、RURDS の Best Paper Award とともに賞を狙って欲しいと思います。

応用地域科学における皆様の研究成果が、この分野の理論的な進展のみならず、具体的な都市政策や地域政策の現場に反映されることを期待します。

2. 副会長選挙の結果

選挙管理委員 赤木博文 (名城大学)
森杉雅史(名城大学)

応用地域学会副会長選挙は、平成 25 年 3 月 10 日締め切りで行われました。結果は以下の通り、総投票数 138 票の内、65 票を獲得された文世一先生 (京都大学) が当選されました。平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日までの 2 年間、副会長にご就任いただきます。

投票総数	138 票 (無効票 4 票)
文 世一 (京都大学)	65 票

3. 運営幹事等役員の選任

事務局 宮本成雄

新しい会長のもと、運営委員会が 5 月 25 日に開催され、以下のように 2013 年度の運営幹事等の役員、委員会委員等が選任、又は任命されました。(太字名が今回の新任、敬称略・順不同)

○運営幹事（規程無）

- ・運営委員会内で選任（運営委員会を機能的に運営するために設置。）

<2012・2013>

総務 浅田 義久（日本大学）
渉外 田淵 隆俊（東京大学）
会計 松島 格也（京都大学）

○監査委員（会則第9条3項）

- ・運営委員会が、個人会員の中から委嘱する（2名）。任期の規程無。

<2013・2014>

松島 格也（京都大学）、内藤 徹（徳島大学）

○選挙管理委員（選挙内規第3条）

- ・会長が、指名する（2名）。任期の規程無。

<2013・2014>

高塚 創（香川大学）、横井 渉央（東北大学）

○大会プログラム委員会（規程無）

- ・運営委員会で選任・委員長指名（開催大学・委員長の意向により委員の増減あり）

<2013年度(京都大学)>

委員長 浅田 義久（日本大学）
委員 小川 光（名古屋大学） 佐藤 泰裕（大阪大学）
猪原 龍介（亜細亜大学）、石川 良文（南山大学）
亀山 嘉大（香川大学）、森 知也（京都大学）

○坂下賞選考委員会（2004年度～）

<坂下賞選考規程>

[選考委員会]

第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は、5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期]

第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

＜2013 年度坂下賞選考委員会委員＞

委員長 瀬古 美喜 (武蔵野大学 3年目)
委員 小林 潔司 (京都大学 2年目)
委員 浜口 伸明 (神戸大学 1年目)
委員 中村 良平 (ARSC 会長)
委員 文 世一 (ARSC 副会長)

○応用地域学会論文賞 (Best Paper Award of ARSC-新設) 選考委員会

＜論文賞選考規定＞

[選考委員会]

第5条:運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期]

第6条:運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

*任期に関する申し合わせ事項;2014~16の間は、2013年度選任の3名のうち1名が順次退任し、運営委員会が選任した1名を就任する。

＜2013 年度＞ (○数字は、申し合わせに基づく退任の順序)

委員長 黒田 達朗 (名古屋大学)①
委員 大澤 義明 (筑波大学) ②
委員 奥村 誠 (東北大学) ③
委員 中村 良平 (ARSC 会長)
委員 文 世一 (ARSC 副会長)

4. 第27回研究発表大会のご案内

第27回研究発表大会実行委員長 小林潔司

2013年度大会は、京都大学(京都市)において、下記要領で開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。積極的な参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

(1) 大会概要

- ①期 日 2013年12月14日(土)、15日(日)
②会 場 京都大学(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)
③参加費 正会員・非会員は2000円、学生会員は無料

大会の詳細につきましては、下記の大会ホームページをご覧ください(6月上旬より公開予定)。

<https://sites.google.com/site/arsc2013kyoto/>

(2) 発表申込

- ①発表者の条件 ARSC 会員であること
※非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。
②下記についてご記入の上、お申し込み下さい。
(大会ホームページから「発表申込用紙」をダウンロードしてください)。

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、電話、ファックス、E-mail アドレス
- d. 発表題目 (和・英のいずれか)
- e. 要旨 (和文 200 字、英文 100 語程度。いずれかを記載)
- f. 発表時の使用言語 (日本語または英語)
- g. 希望討論者 (候補者 2 名まで)

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

- h. 発表区分 (「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照)
- ③申込方法 申込用紙はできるだけ E-mail に添付してお送り下さい。
メールの件名は「**arsc 申込(名前)**」として下さい。
発表申込用紙のファイル名は「**application(名前)**」として下さい。
(例 application(小林潔司)など)
なお、郵送または fax での申し込みも可能です。
- ④申込先 E-mail arsc2013@psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp
住所 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 小林研究室
電話 075-383-3223、FAX 075-383-3224
- ⑤申込期限 2013年9月30日(月) 必着

(3) セッション構成と企画の募集

- ・ 下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。
- ・ **2013年9月30日（月）までに企画提案をお送りください。**（送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません。）

<p>一般 セッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード（事例）に限定することなく、ARSCにとって関連のある論題を積極的にご報告ください。 《地域問題》 成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画 《都市問題》 都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政 《交通》 都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信 《環境》 影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災 《国際問題》 開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税
<p>Early Bird セッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が、原則として単著で申し込んだ発表から構成されます。 ・ ARSCの将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。
<p>特定 セッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（これまでに「交通混雑緩和と料金政策」、「知識の創造・伝搬と集積の経済」、「人口経済学的アプローチ」などの特定セッションが組み込まれました）。 ・ <u>このセッションの企画を募集しております。</u>オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。
<p>シンクタンク・セッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。 ・ このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起を基に構成されます。 ・ 賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの<u>企画提案をお待ちしております。</u>

(4) 今後の予定

①大会プログラム

- ・ 10月下旬に確定し、ARSCのホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

②発表原稿

- ・ 最終の発表原稿を11月30日（土）までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

E-mailに添付して送られる場合は、必ずPDF形式にしてください。

大会事務局宛てのメールの件名は「**arsc論文(名前)**」として下さい。

論文のファイル名は半角アルファベットで「paper(name)」として下さい。

(例 paper(kobayashi, kiyoshi)など)

座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

- ・事務局に論文をPDFで送付していただければ、大会HPに報告論文をアップロードします。(アップロードの期間は本年中とします。)アップロードを希望しない場合は、メールにその旨を明記してください。
- ・発表会場には、論文またはそれに準ずるもののコピーを30部程度用意してください。
- ・発表会場にはWindowsのパソコンとOffice Professional 2010を準備する予定です。またPDFも利用可能です。

(5) 2013年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 小林潔司 京都大学 委員 文世一 京都大学 委員 森知也 京都大学 委員 松島格也 京都大学
プログラム委員会	委員長 浅田義久 日本大学 委員 石川良文 南山大学 委員 猪原龍介 亜細亜大学 委員 亀山嘉大 香川大学 委員 佐藤泰裕 大阪大学 委員 森知也 京都大学
大会事務局・ お問い合わせ	〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 小林研究室 電話 075-383-3223 E-mail arsc2013@psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp

5. 2013年度坂下賞候補者の推薦について(候補者を公募します)

坂下賞選考委員会委員長 瀬古美喜(武蔵野大学)

応用地域学会では、日本における地域科学の研究を発展させ、当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち、若い研究者を奨励することを目的として、毎年1名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ2013年12月31日に満40歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか(あるいは複数の領域)で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

2011年度から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご

推薦下さい。

<募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者（候補者）1名につき、推薦者1名（自薦も可）

応募書類：推薦書（A4一枚：推薦書様式参照）および業績リスト（様式は任意）

締切：2013年10月15日(火)17時

（必着：メールの場合は受け取りを確認すること）

宛先：下記までPDFあるいはWORDのファイルをメールに添付して送付。

あるいは郵送のこと。

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科

中村 良平 宛

e-mail:ubbz0252@cc.okayama-u.ac.jp

なお、推薦された候補者は、坂下賞選考委員会で、委員会推薦の候補者と併せて審議され、受賞者が決定されます。受賞者は、応用地域学会総会(2013年12月14日、於京都大学)で、発表・表彰いたします。

2013年度坂下賞選考委員会

委員長 瀬古美喜（武蔵野大学）

委員 小林潔司（京都大学）

浜口伸明（神戸大学）

中村良平（ARSC会長）

文 世一（ARSC副会長）

6. 第3回アジア地域科学セミナー

事務局 宮本成雄

第3回アジア地域科学セミナーは、ご案内の通り、アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために、応用地域学会（ARSC）、台湾地域学会（CRSA）、中国地域学会（RSAC）、韓国地域学会（KRSA）が共催して、2013年8月7日～8日、台湾の国立東華大学（National Dong Hwa University—台湾花蓮県寿豊郷）で開催されます。参加申し込みは、既に締め切られておりますが、日本（ARSC）からは、24本の論文発表と33名の参加が予定されています。

(アジア地域科学セミナーは、上記4カ国学会の共催ですが、第2回より、各国持ち回り開催となり、第2回は日本(ARSC)、第3回は、台湾(CRSA)が、開催担当(主催)となりました。)

<参考;第3回アジア地域科学セミナーWebsite>

http://www.econ.sinica.edu.tw/The_Third_Asian_Seminar_in_Regional_Science/index_en1.php?websiteID=1961&secureChk=fbc21c8d507856fb892de6dbf6d87bc

7. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長：大澤 義明(筑波大学)

現在、「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けています。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。雑誌は年2回の刊行を心がけており、雑誌刊行の予定に合わせて、1月20日と7月20日の締め切り日を設けております(<http://www.arsc.org>を参照ください)。奮ってのご投稿をお待ちしております。特に、若い研究者によるご投稿、地域課題に関する問題解決型論文、震災復興など適時性に優れた論文のご投稿をお待ちしております。

1. 論文投稿希望の方は、論文はできるだけword形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。**宛先は、編集委員長です(e-mail: osawa@sk.tsukuba.ac.jp)**。LaTeXで作成された原稿でpdfファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿はwordでお願いすることがあります。

2. 受付の確認を電子メールで送付いたしますので、投稿後一ヶ月を過ぎても連絡が無い場合は、下記までお問い合わせ下さい。

3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行1ヶ月後に掲載論文を学会HPにて公開します。

応用地域学研究編集委員長

大澤 義明

筑波大学システム情報系社会工学域

TEL& FAX 029(853)5224

E-Mail osawa@sk.tsukuba.ac.jp

8. 2012 年度決算(概要)について

事務局 宮本成雄

2012 年度(2012 年 4 月 1 日~2013 年 3 月 31 日)学会決算(案)概要を以下のようにご報告します。ここ数年 RURDS の購読費の一部が翌年度支払となっておりますが、2012 年度は、すべての支払が年度内となり、前年度分の支払と合わさって RURDS 購読費が大きく計上されています。結果として繰越金が大きく減少しておりますが、実態に即したものとなっております。この結果を受け、学会費収入の減少もあり、先の運営委員会で、ここ数年無料としていた研究発表大会の参加費を有料とすることに決まりました。

今後、監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。なお監査委員は、松島格也(京都大学)及び内藤徹(徳島大学)の両先生にお願いすることになりました(前掲)。(詳細の報告は、監査終了後、総会承認後のニューズレターに掲載します。)

2012 年度決算(案)概要

(単位:万円)

収 入		支 出	
繰越金	884	RURDS 購読	511
会費(国内、国際、賛助)	454	「応用地域学研究」刊行	87
大会参加費等(年次大会、アジア地域科学セミナー)	122	大会開催費(年次大会、アジア地域科学セミナー)	206
その他(助成金等)	41	国際会費	23
		事務費、その他	117
収入合計	1,501	支出合計	944
(繰越金を除く収入計)	(617)	繰越金	557

9. ARSC 事務局住所変更について

事務局担当

2013 年 5 月 14 日より、(株)メッツ研究所の事務所移転により、応用地域学会の事務局の住所、電話番号が変更されました。ご連絡等は、以下にお願いいたします。

新しい ARSC 事務局住所・電話(メールアドレスの変更はありません)

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 126 NITTO ビル 5F

(株)メッツ研究所内 応用地域学会

電話 ; 03-5227-7804 Fax;03-5227-7807

E-mail ; clerk@arsc.org

(最寄 ; 東京メトロ東西線「神楽坂」駅 2 番出口)

10. 2013 年度第 1 回運営委員会報告（概要）

事務局担当

2013 年度第 1 回運営委員会が 5 月 25 日(土)に行われました。議事録等の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

2013 年度 ARSC 第 1 回運営委員会議事録要旨

日 時；平成 25 年 5 月 25 日（土）14：00 ～ 16：30

場 所；YIC 京都工科大学校 241 教室

出 席；13 名、委任状 9 名

1. 副会長選挙結果報告（前掲）

* 3 月に行われた副会長選挙では、文世一先生（京都大学）が選ばれ、4 月 1 日より副会長に就任したことが報告された。

2. 運営幹事等役員の選任(2013 年度選任)（前掲）

* 2013 年度に新規選任となる、監査委員、選挙管理委員、研究発表大会プログラム委員会（委員長・委員）、坂下賞選考委員会（委員長・委員）、応用地域学会論文賞選考委員会（新設、委員長・委員）の各委員の選任とその承認がなされた。

3. 2012 年度会計概要（前掲）

* 2012 年度決算概要、青森大会収支決算、第 2 回アジア地域科学セミナー収支決算についての報告があり、承認された。決算書については、監査委員による監査後、総会に諮る。

* RURDS 出版に関する費用負担増、賛助会員の退会等会費収入の減少などから、今後の収支決算は、厳しい状況に陥ると予想される。このため、

・ 賛助会員へのサービス強化や賛助会員確保を具体的に検討し、進める。

（応用地域学研究等での、賛助会員の調査研究成果の発表の場を作るなど）

・ 今年度研究発表大会より、会員の参加費を徴収する。

4. 2013 年度坂下賞の選考について（前掲）

* 昨年度同様に、受賞候補者の自薦他薦を含めた推薦を公募する。

* 選考のスケジュールは、例年通りとして進める。（6 月ニューズレターで公募を開始。）

5. 2013 年度研究発表大会（京都大学）の開催について（前掲）

* 12 月 14, 15 日、京都大学吉田キャンパスで開催する。

（大会実行委員長は小林潔司先生）

* 賛助会員サービスの強化として、シンクタンクセッションの活性化を図るよう大会プログラム委員長に要請する。

6. 2013 年度 第 3 回アジア地域科学セミナーの開催について（前掲）

*台湾で行われる第3回アジア地域科学セミナーへは、ARSC から 23 本の論文発表の申し込みがあり、参加予定者は 33 名となっていることが報告された。

7. ジャーナルの編集状況及び今後の方針について

①応用地域学研究

編集委員長の大澤先生(筑波大学)から以下の報告がなされた。

*No. 17 は、6 月末の刊行予定で校正等が進められている。No. 17 の発行年は、掲載論文との関わりから 2013 年度とする。

*今後、坂下賞受賞論文集、シンクタンク会員等の調査研究成果の論文集（実務での論文）などの特集を企画する。

*編集委員会に、有田智一先生（筑波大学）に入ってください。

②RURDS

編集委員長の黒田先生(名古屋大学)から以下の報告がなされた。

*RURDS のダウンロード件数は、一時減少した年もあったが、欧米アジア各国から、順調に増加している。

*RURDS の値上げ要請もあるが、全体の負担増と合わせ、対応を検討していく。

*Wiley から、RURDS 掲載論文に“賞”が予定されている。これは、“応用地域学会論文賞”とは別である。

8. 応用地域学会論文賞について

*賞は、表彰状（盾）と賞金 50,000 円とする。

9. ARSC 事務局運営について

①会員管理システムの運用状況

*システムは、会員による登録情報更新等、かなり有効に使われているが、登録情報が更新されていないケースもかなりある。システムの PR をもう少し徹底していく。

②ホームページ・メーリングリスト管理について

*ホームページの情報更新、掲載は従来通りファイル等を、従来通り、担当の大橋先生(弘前大学)に依頼することにより対応する。

10. その他

*応用地域学研究のバックナンバーについて

バックナンバーの保管は、ホームページに PDF が掲載されていることもあり、各号永久保管 5 部+予備保管 10 部(部数に満たない号もある)とする。

以上

11. 事務局だより

事務局担当

□ARSC 会員現勢

2013 年 5 月末日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 480 名(内、一般会員 419 名、学生会員 53 名、海外会員 8 名)

賛助会員 6 団体(総口数 8 口)。

□事務局からのお願いです。

会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ (<https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arsc>) にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。

また、会費振り込みの際、通信欄の記入には、勤務先や住所変更等があった場合は、必ずその旨を明記しておいてください。

- 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>)の「入会手続き」より行ってください。入会に関するお問い合わせは、ARSC 事務局にメール (clerk@arsc.org) にて、お願いいたします。
- 事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思えます。
- ホームページ、メーリングリストへの問い合わせは下記にお願いします。

- ◆ホームページの更新等に関する情報提供・問い合わせ ; ohashi@cc.hirosaki-u.ac.jp (大橋)
- ◆メーリングリストに関する変更・問い合わせ ; clerk@arsc.org (宮本)